

平成18年9月14日  
東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

## 9月定例所長会見における千野所長挨拶内容

### 今月から開始した地下探査について

先日ご取材いただいたとおり、当発電所では今月6日から起震車を使った地下探査を実施しており、現在のところ、1つ目のルート（宮川～妙法寺までの約8km）の調査が順調に終了しています。本日から、松波から発電所まで（松波～発電所構内までの約5km）の調査を開始し、今後は、発電所周辺の4ルート全ての調査を10月下旬までに行った後に解析・評価を実施し、結果については来年3月末までにまとめる予定です。

耐震設計審査指針については、本年4月に改訂原案がまとめられ、パブリックコメントを踏まえて今月にも正式決定される見通しです。決定された際には、私どもとしては、原子力安全・保安院へ実施計画書を提出し、国から示される耐震安全性を評価する基準的な手法に沿って評価を実施してまいり所存です。

起震車のデモンストレーションは、マスコミの皆さんをはじめ自治体・地域の会など多くの方々に実際にご覧いただきました。耐震問題は地域の住民の方々にとって非常に関心の高いテーマでもあります。私どもとしては、現在実施している地質調査を確実にを行うとともに、調査内容やその結果については、住民説明会やニュースアトムなどを通じてわかりやすくご説明してまいりたいと考えています。

### 発電所の再生活動について

私どもはこの4年間、原子力を再生しようと様々な活動に取り組んでおり、その結果は色々な面に現れてきていると考えています。例えば、安全や品質面では、品質保証システムの構築によりPDCAを強く意識した仕事のやり方が所員一人一人に徹底され、その成果はヒューマンエラーの低減やISO9001の認証取得などの外部評価にも現れ始めていると感じているところです。

8月29日の所員集会には、会田市長と品田村長にもご臨席を賜り、市長からは「発電所と地域とが共生して、ともに発展していくことが大事。しかし、その前提には原子力発電所の安全性の確保が何よりも大切」とのお話を、村長からは「私は皆さんを信頼しており、皆さんもその信頼にしっかりと応えてくれると確信している。これからも自らの実力、スキルをあげて社会から賞賛される発電所を築きあげてもらいたい」と、所員一同を厳しくかつ期待をもって激励していただくなど、大変ありがたいお言葉を頂戴しました。

また、先日（9/6）社長が新潟県知事を訪問した際には、知事からは「着実に対応していることに感謝しているが、不断の努力をお願いしたい。その積み重ねが地域住民の信頼感につながっていく」との評価をいただきました。

私どもとしては、これまで取り組んできた実績に「自信」を持ち、また、エネル

ギーセキュリティー面や地域の雇用・経済活動に大きな役割を果たしている重要なインフラである原子力発電に携わる者としての「責任」と「誇り」を持ちながら、一步一步前進してまいる所存です。

そのために私どもが果たさねばならない一番重要なことは、業務品質を向上し、発電所を安全・安定運転することであり、そのことが地域社会からの信頼を揺るぎないものにしていく道でもあると考えています。

今後とも、発電所のスローガンである「安全の芽を育て、安心の花を咲かせます。」にあるとおり、安全を最優先に、地域の皆さまからのご安心、ご信頼をより確固たるものとするよう弛まずに取り組んでまいる所存です。

#### 携帯サイト「モバイル柏崎刈羽」の開設について

当発電所では携帯電話の特性を活かして、発電所の情報を速やかに地域の方々に発信する「モバイル柏崎刈羽」を、先月 19 日に新たに開設しました。発電所からのお知らせやイベント情報のほか、地域のお店情報など生活にお役に立つ情報も随時発信しています。

また、この携帯サイトには地域の方々のご意見をお伺いするコーナーも設置しており、今後も、このように新たなツールも活用しながら地域の皆さまからの貴重なご意見を伺い、透明性の高い発電所運営を行ってまいる所存です。

以 上

添付)

- 柏崎刈羽原子力発電所 DATA・BOX
- プレス公表（運転保守状況）

# 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成18年9月)

平成18年9月14日

発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況											補足説明
			10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	
1号機 1,100MWe (S60.9.18運開)	運転中	第14回 H17.6.14 ~ H18.5.30 停止期間 H17.6.14 ~ H18.4.30 (321日) (原子炉起動H18.4.26)	第14回定検による停止											[1号機] ・8月30日、原子炉再循環ポンプ(B)の第2段軸封部の圧力にわずかな上昇傾向がみられたことから、同日より監視強化を実施。(お知らせ済)  [3号機] ・9月15日に経済産業省の総合負荷性能検査を受検する予定。  [4号機] ・8月28日より原子炉再循環系配管の補修工事を開始。  [7号機] ・8月23日から第7回定期検査開始(お知らせ済み)
2号機 1,100MWe (H2.9.28運開)	運転中	第11回 H17.9.3 ~ H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第11回定検による停止											
3号機 1,100MWe (H5.8.11運開)	第9回定期検査中 停止期間:H18.5.12~H18.7.27 現在調整運転中	第8回 H17.1.18 ~ H17.6.8 停止期間 H17.1.18 ~ H17.5.13 (116日) (原子炉起動H17.5.10)	第9回定検による停止											
4号機 1,100MWe (H6.8.11運開)	第9回定期検査中 停止期間:H18.4.9~	第8回 H16.8.7 ~ H17.4.20 停止期間 H16.8.7 ~ H17.3.25 (231日) (原子炉起動H17.3.22)	第9回定検による停止											
5号機 1,100MWe (H2.4.10運開)	運転中	第11回 H17.7.4 ~ H17.11.2 停止期間 H17.7.4 ~ H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	第11回定検による停止											
6号機 1,356MWe (H8.11.7運開)	運転中	第7回 H17.12.10 ~ H18.5.12 停止期間 H17.12.10 ~ H18.4.13 (125日) (原子炉起動H18.4.10)	第7回定検による停止											
7号機 1,356MWe (H9.7.2運開)	第7回定期検査中 停止期間:H18.8.23~	第6回 H17.3.1 ~ H17.8.2 停止期間 H17.3.1 ~ H17.6.23 (115日) (原子炉起動H17.6.20)	第7回定検による停止											

プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

発電所設備利用率(%) (8月末現在)	
8月	81.7%
18年度累計	76.1%
運転開始後累計	77.3%

発電所発電電力量(MWh) (8月末現在)	
8月	4,991,700
18年度累計	22,939,954
運転開始後累計	758,286,658

ドラム缶発生量(本) (H18年度第1四半期)	
当期発生本数	1,149
貯蔵庫累積貯蔵本数	19,402
貯蔵庫保管容量	30,000

使用済燃料貯蔵体数(体) (H18年度第1四半期)	
使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	12,084
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,629
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,193

構内従業員データ(人) (9月1日現在)

	東京電力			協力企業		比率
	人数	比率	人数	比率		
県内	柏崎市	783	61%	2,418	61%	
	刈羽村	73	6%	241	6%	
	その他	77	14%	667	14%	
	小計	933	82%	3,326	82%	
県外		109	18%	851	18%	
合計		1,042	-	4,177	-	
		5,219	100%		100%	
協力企業社数(社)				570		

「比率」について端数処理の関係で数値と計が合わない場合がある。

来客情報(人) (8月末現在)

	8月	年度累計
地元	2,153	7,325
県内	2,872	11,968
県外	4,416	14,979
国外	81	218
合計	9,522	34,490

今後の主なスケジュール

予定日	内容
9月21日	ヨーガ教室(カムフィー)
9月21・22日	第120回名画鑑賞会(柏崎エネルギーホール)
9月下旬	雑固体廃棄物焼却設備(大湊側)竣工予定
10月8・9日	サービスホール秋のふれあい祭り(サービスホール)
10月11日	花と球根の寄せ植え体験教室(き・な・せ)
10月12日	次回定例所長会見予定
10月19・20日	コサージュ教室(柏崎エネルギーホール)
10月21日	コサージュ教室教室(き・な・せ)
10月22日	カムフィーイベント ~ターゲットダーツ・型抜き~(カムフィー)
10月29日	東京電力 ミュージックライブ アット カムフィー(カムフィー)

インターネットホームページアドレス  
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社  
 柏崎刈羽原子力発電所  
 広報部  
 0257-45-3131(代)

## プレス公表（運転保守状況）

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
	7月19日	7号機	気体廃棄物処理系の高感度オフガスモニタの指示値上昇について（区分）	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月18日、気体廃棄物処理系の高感度オフガスモニタの指示値に上昇傾向が認められたことからオフガス（排ガス）をサンプリングして分析を行った結果、当該処理系のオフガスの放射能濃度が上昇していることを確認。</li> <li>原因は、燃料棒の被覆管に微小な孔が発生し、放射性物質が原子炉冷却材中に漏れ出た可能性が考えられることから、関連パラメータの監視強化を行うとともに、制御棒の操作により、7月23日、放射性物質が原子炉冷却材中に漏れ出ている可能性のある燃料集合体があると考えられる範囲を特定し、その周辺の制御棒4本を全挿入して当該燃料集合体の出力を抑制した。</li> <li>8月23日から開始した定期検査において調査（9月1日から7日）した結果、燃料棒の被覆管に微小な孔が発生した可能性のある燃料集合体1体を確認した。今定期検査において、当該燃料集合体を健全なものに取り替えることとする。</li> </ul> <p>（前回お知らせ文） <a href="http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2006/pdf/18071901.pdf">http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2006/pdf/18071901.pdf</a></p>
	8月16日	7号機	タービン建屋内での水漏れについて（区分）	<ul style="list-style-type: none"> <li>8月15日、タービン建屋地下中2階にある高圧ドレンポンプ弁室内のポンプ（A）の弁付近から水が漏れていることをパトロール中の当直員が発見。その後、予備機であるポンプ（C）に切り替え、ポンプ（A）を系統から切り離したことから漏えいは停止した。</li> <li>漏れた水はすべて同室内にとどまっており、漏えい量は約2.4m<sup>3</sup>、放射エネルギーは約9.7×10<sup>8</sup>ベクレルで、排水および拭き取りにより処理した。</li> <li>当該弁の漏えい箇所を分解して調査した結果、原因は、プラント運転に伴う温度上昇によりポンプ（A）吐出弁のグランドパッキンの締め付けが緩んだことから水漏れが発生したものと推定した。当該グランドパッキンは新品に交換済み（8月19日）。</li> </ul> <p>（前回お知らせ文） <a href="http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2006/pdf/18081601.pdf">http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2006/pdf/18081601.pdf</a></p>
	8月31日	1号機	原子炉再循環ポンプ（B）軸封部の監視強化について（区分）	<ul style="list-style-type: none"> <li>8月30日、原子炉再循環ポンプ（B）の第2段軸封部（メカニカルシール）の圧力にわずかな上昇傾向がみられ、その後も圧力の上昇傾向は緩やかに継続していることから、同日より関連パラメータの監視を強化することとした。</li> <li>軸封部は2段構成となっており、本事象では第1段軸封部に何らかの不具合が生じているものと推定しているが、当該ポンプの軸封部のシール機能は維持されていることから、直ちに当該ポンプの運転に影響を与える状態ではない。</li> </ul> <p>（前回お知らせ文） <a href="http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2006/pdf/18083101.pdf">http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2006/pdf/18083101.pdf</a></p>